

# ゆたか俱楽部 よもやま話

vol. 4

クルーズご意見番“初代クルーズマスター 松浦睦夫”が語る

1975年（昭和50年）に「クイーン・エリザベス2（QE2）」（7万3277トン）が日本に初寄港しました。英國キュナード社のフラッグシップとして1969年に就航した最後の大西洋定期横断航路専用客船は、日本人が抱く「豪華客船」のイメージそのもので、横浜港寄港時には見学者が55万人も詰めかけたそうです。



クイーンエリザベス2

話を聞きました。

ゆたか俱楽部と「クイーン・エリザベス2」との付き合いは、QE2の日本総代理店であるスワイヤー社が所有する「コーラル・プリンセス」を、1989年（平成元年）にチャーターした縁から始まりました。世界一周クルーズでは、日本寄港の際に毎回ある一定の船室をゆたか俱楽部の会員様のために確保していただき、香港→横浜、横浜→ハワイの区間コースを募集しました。一番多い年では香港→横浜で120名のお客様に参加いただきました。

1989年（平成元年）の横浜博覧会期間中の2か月に及ぶホテルシップ、その後1990年にかけて、三井物産、電通、サッポロビールなど大手7社が設立した会社「マリンレジャー開発」によってチャータークルーズが10回も実施されました。QE2のネームバリューもあり旅行代金はかなり高めに設定されましたが、QE2のネームバリューもあればかなり高い「日本人価格」に付け替えられていきました。値段が高くて憧れのQE2グッズは、記念にお土産にと日本人客に大いに売れていました。

ダンスができるホール（クイーンズルーム）は広く、そこで行うショーや

は当時ではスケールが大きく、素晴らしいものでした。タキシードやイブニングドレスなどフォーマル用の衣装をレンタルしていたのもQE2が最初だったと記憶しています。食事はチップ次第でどんな食事でも出してくれました。私はお客様の喜ぶ顔が見たくて、チップをはずみ、評判が良かつたデザートなどをリクエストしたこともあります。

キュナード社の船は現在もそうですが、船室の階級によつてレストランが指定されます。私の船室は最下フロアのインサイド（内側）で2段ベッドのスタッフルームでしたが、お客様がいたので自分の階級以上のレストランで食べたことがあります。しかし、さすがに一番上のレストランは未経験です。QE2を5つ星客船と思っていた方が多いようですが、実は5つ星のは一番上の階級（グリルクラス）だけで、他は違います。現在のキュナード社の船も同様です。私見ですが、階級だけでなく人種による差別感はあるように思います。

QE2で毎回困ったのは、出入港の時です。海中に当たるフロアに数カ所の防御壁が現れ、通路を遮断するのです。最下フロアの部屋の私は隣に行くのにわざわざ階段で上方のフロアに行かなればなりませんでした。現在はその

なくなつて、QE2は弊社が独占で日本寄港の販売をしましたが、前年と比較ドレスなどフォーマル用の衣装をレンタルしていたのもQE2が最初だったと記憶しています。食事はチップ次第でどんな食事でも出してくれました。客船となったロイヤルカリビアン社の客船です。処女航海はカリブ海クルーズで、日本発のフライ&クルーズの旅行代金は50万円ほどでした。日本では2社がツアーモード募集し、私は40名様を添乗しました。どちらかというと大衆船で、サービスが特別いいわけではありません。現在なら30万円ぐらいの内容だったと思いまが、この船によつて、船を大型化してコストを下げて参加しやすくなつていきました。この時は、乗船者リストが一冊の本となつて全客室に配布されました。現在では個人情報の関係でこの船会社も全くしていません。

（次号に続く）

日本のクルーズ略史（外国船ブームの始まり）

1969年 「クイーン・エリザベス2」就航

1975年 「クイーン・エリザベス2」日本初寄港

1988年 「ゾブリン・オブ・ザ・シーズ」就航

1989年 「クイーン・エリザベス2」横浜博覧会でホテルシップ  
ゆたか俱楽部、コーラル・プリンセスをチャーターし、グアム・サイパンクルーズを実施。

「クイーン・エリザベス2」日本企業によるチャータークルーズ10回実施

1990年

万円ほどで叩き売りされていたといふは横浜発着の香港クルーズがなんと2